

障害自立支援課長の答弁

地域生活支援拠点整備事業は、現在策定中の広島市障害者計画の終期である平成35年度末までに全区（8か所）に整備することを目指し、まずは平成32年度末までの3年間にその半数の4区において整備することとしています。

昌宏の要望
自分では「ントロール出来ない感情に寄りそつて頂きたい、家族が患者に対し愛情をそそげる環境を地域生活支援拠点事業で育てて頂きたくお願い申し上げます。

障害者の社会 参加の促進を！

障害者の社会参加のための施設として光町の心障センターがあります。身障センターは広島駅からかなり距離があるので車いすの方など移動に支障がある障害者の方のために駅との間を往復する無料送迎バスを運行している。しかし、送迎バスに乗降できる所はシエラトンホテル広島の東側にあり、このような障害者の方にとつては遠いと思う。駅北口のロータリーから送迎バスが発着できればより障害者の方の利便性が向上すると考えるがどうか。

障害自立支援課長の答弁
利用者の意向や、ロー・タリーのバスエリアを管理している公益社団法人広島県バス協会等の

昌宏の質問

広島市には国際大会に出場
する陸上選手もいると聞いてま
す。選手が全力で競技し良い成
績を上げることが出来る環境の
補助としては少ないので、例え
ばクラウドファンディングなど

ごとモ・家庭支援課長の答弁
運営を委託している事務局に確認したところ、出産や子どもの病気の場合等に備えて念のために会員登録を行つたが、結果的に実際の利用までに至らなかつた方が多かつたのではとのことでした。

障害者スポーツ

選手の支援を!

昌宏の質問

障害者スポーツ大会出場支援事業が来年度新規予算で上げて頂いてるがその内容を教えてほしい。



障害福祉課長の答卦

障害福祉課長の答弁
御提案のあったクラウドファンディングについて、資金を調達するだけでなく、障害者スポーツへの共感を広げることができる手法であり、さらに、障害者自身が企画・提案することによる主体的な社会参加を促すことにもつながるものと考えられることから、今後、広島市障害者スポーツ協会を通じて、個別のスポーツチームでの活用について、必要な助言等を行っていきたいと考えています。

ファミリー・サポート センター事業について

昌宏の質問

ファミリー・サポートセンター事業の依頼会員と提供会員数の推移は依頼会員は伸びておらず28年度3、607人、提供会員、毎年570名ぐらいは登録頂いている。事業の利用件数の推移は毎年約1万件ですが、依頼会員の利用頻度は依頼会員に登録をしていても4、7%の会員しか利用していない理由についてどのように認識しているのか。

JR西広島駅が
生まれ変わります

西広島駅周辺地区交通結節点整備は、自由通路の整備、それに伴う橋上駅舎化、南口駅前広場の再整備を実施するものです。JR西日本と自由通路や橋上駅舎の施行に関する協定を締結し、実施設計に着手したところです。来年度予算は、JR西日本がこの協定に基づき引き続き行う自由通路、橋上駅舎の実施設計や仮駅舎の築造等の準備工事に要する経費、また、本市が行う店舗等2件分の補償に要する経費です。

こども・家庭支援課長の答弁

依頼会員について、登録しているにもかかわらず、利用頻度が低いことについて、正確に要因を把握できていない面があることから、その要因を把握する必要があると考えており、会員へのアンケート調査を行っていきたいと考えています。

交通施設整備担当課長の答弁

昌宏の質問
自由通路や橋上駅舎が完成するまでの工事手順はどのようになるのか。(昌宏の質問)

第三章

A photograph showing a man in a dark suit and glasses standing at a podium, speaking at what appears to be a public hearing or committee meeting. He is gesturing with his hands as he speaks. In the background, several other individuals are seated at tables, some looking towards the speaker. The setting is an indoor conference room.

都市再開発担当課長の答弁

年度予算の主な内容について聞かせてください。

平成26年度から今年度まで回の勉強会を重ね、概ねの地の理解が得られたことから、年度のできるだけ早い段階で市計画決定を行い、事業に着手したいと考えております。これに必要な経費など、1億4,23万1千円を予算計上しております。その内訳は、土地区画整理事業の基本設計や換地設計費、区画整理事業における道路・園等の公共施設に充てるため用地の先行取得費、地区の課である緊急車両の出入りの改を目的に進めていた己斐石内の暫定整備のための用地取得などを計上しています。

昌宏の要領

北口地区のまちづくりは、成16年に事業を一旦中止して来、地域の住民は10年以上の間にわたり待ち続けています。JR西広島駅を広島市の西の関に相応しいものにするため、通結節点機能の向上や賑わい創出に南北地区二体的な活性を図る重要な事業です。事業早期に着手し地域の住民が期する、新しい、西広島駅と周地区の姿を我々に見せていただきたいと思います。